

進捗報告

1 今週やったこと

- リーチフラグを 0 にした実験
- classweight 実験

2 リーチフラグを 0 にした実験

前はリーチした後のすべてのデータのフラグを 0 にしたが、結果はよくなかった。今回はリーチする巡のフラグだけを 0 にした。表 1 に結果を示す。元のモデルとほぼ変わらなかった。

表 1: リーチフラグ 0 にした実験

	precision	recall	f1	support
0(ノーテン)	0.9488	0.9720	0.963	82564
1(テンパイ)	0.6721	0.5218	0.5875	9066
acc			0.9275	91630
AUC			0.6507	

3 classweight の実験

表 2 と表 3 に結果を示す。今回は classweight を 1:10 と 1:20 に設定して実験した。precision と recall は離れてる状況は確かに改善されたが、東家以外の結果の効果はまだ不十分。四つのプレイヤーに対して違う classweight を使ってまた実験する。また F1 値はあがったが、PR 曲線の面積は小さくなった。

表 2: classweight10 の実験

	precision	recall	f1	support
0(ノーテン)	0.9542	0.9598	0.9569	82564
1(テンパイ)	0.6124	0.5807	0.5962	9066
acc			0.9222	91630
AUC			0.6436	

表 3: classweight20 の実験

	precision	recall	f1	support
0(ノーテン)	0.	0.	0.	82564
1(テンパイ)	0.	0.	0.	9066
acc			0.	91630
AUC			0.	

4 来週の予定

シャンテン数があがったか下がったを予測するモデルを作る.